

第2回 横浜市南部汚泥資源化センター下水汚泥燃料化事業 横浜市PFI事業審査委員会議事要旨	
日 時	平成23年6月13日(月) 14時45分～16時30分
開催場所	金沢水再生センター管理棟会議室
出席者	委員 4名(委員については、入札公告時に示します) 事業所管局(環境創造局) 小浜下水道施設部長、野村下水道施設部担当部長、小原下水道設備課長 ほか 事務局(政策局共創推進室) 矢野担当課長、久保田担当係長 ほか
欠席者	2名
開催形態	非公開
議題	審議内容 特定事業の選定について
議 事	<p>■委員発言要旨</p> <p>○市が自ら実施する場合(以下、PSC)とPFI事業の場合(以下、PFI-LCC)での比較において、管理運営の人件費については、どのように算出しているのか。 →PSCについては、本市の積算基準により積算を行っている。PFI-LCCについては民間事業者への調査を行い積算している。</p> <p>○PSCとPFI-LCCの比較において、解体費で差が出る要因は何か。 →PSCでは、施設の建て替えを行う際の一般的な対応として、既存施設を解体し更地にすることを想定している。PFI-LCCにおいては、一括工事のため、新たに設置する設備に見合った最小限の解体に留めることができ、再利用できるものは再利用するという前提で算出している。</p> <p>○解体時において、予期しなかった有害物質が出てくるなどの問題が出たときには、設計変更要因となるのか。 →既存施設に関する情報については、公表可能なものは全て公表することを考えており、図面などから想定できるものについては事業者のリスクとなり、想定できないものは市のリスクとなる。</p> <p>○管理運営時のリスク調整はどのように考えているか。 →現在、南部汚泥資源化センターは管理運営を民間事業者に包括委託しており、PSCとPFI-LCCのリスクは同等であると考えている。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
資 料	・特定事業の選定(案)